



申12号

## 2025年度賃金引上げ等に関する申し入れ

2月12日提出!

# ベア一律 15,000 円等を要求!

7項目を申し入れる! 2025JR総連春闘を統一要求・統一闘争でたたかい抜こう!

1. 2025年4月1日以降のJR東労組組合員・社員の基本給を一律15,000円(定期昇給を含まない)引き上げること。
2. 2025年4月1日以降のエルダー組合員・社員の基本賃金を15,000円引き上げること。
3. 「労働条件に関する協約(令和6年10月1日締結)」第258条に基づき、定期昇給を実施し、その場合の昇給係数は「4」として定期昇給を完全実施すること。
4. 2021年4月1日に実施した、満55歳未満(当時)の組合員・社員に対する定期昇給のカット分を別途支給すること。
5. 退職手当の算出基礎となる「第二基本給制度」を凍結すること。
6. 「65歳定年制」を導入すること。
7. 回答については、2025年3月11日から14日までとすること。

我慢の限界だ!  
満額回答を強く  
求める!



JR東労組は、第51回定期中央委員会で「ベア一律15,000円」「定期昇給(昇給係数4)の完全実施」「21春闘における定期昇給カット分の課題解決」「第二基本給制度の凍結」「65歳定年制」をめざすなどの2025春闘方針を満場一致で決定しました。

24春闘では、ベア平均10,598円(3.15%)、定昇と合わせて平均16,973円(5.01%)であり、賃上げ率は連合平均や経団連大手企業平均を下回りました。また、ベアの格差も2,600円つきました。

一方、食料や光熱費等の高騰で消費者物価指数は前年比2.7%上昇、2025年度も2%台半ばの上昇が予想されており、物価上昇に賃金が追いつかない苦しい生活実態です。そして、「融合と連携」「組織再編」等の施策で過去最高の働き度となる中、要員不足も改善されず、労働密度は高まり続けています。

好調な第3四半期連結決算は、JR東日本グループで働く組合員・社員が日々奮闘してきた賜物であり、それに会社は報いるべきです。生活実感と労働実感の厳しさが増している現実を直視し、組合員・社員の生活を守る責務とモチベーション向上を果たすために、満額回答を強く申し入れました!

生活実感と労働実感の厳しさが増している現実を直視して、組合員・社員の生活を守る責務とモチベーションの向上を果たすために、団体交渉での満額回答を求め、職場から連帯してたたかい抜こう!